

# 会 議 等 報 告 書

会議等名 袖ヶ浦市市制施行30周年記念事業市民実行委員会  
第1回プロジェクトチームミーティング

日 時 令和3年5月30日（日）10時00分から12時00分

場 所 袖ヶ浦市役所 旧館3階大会議室

出席者 市民実行委員会プロジェクトチーム 9名  
市職員シティプロモーション戦略プロジェクトチーム 9名  
粕谷会長（袖ヶ浦市長）、泉水秘書広報課長

## 【会議内容】

### 1 開会

### 2 市長（実行委員会会長）あいさつ

### 3 市民実行委員会概要説明

### 4 プロジェクトチームメンバー自己紹介・委嘱状の交付

### 5 議題

#### （1）実行委員会の事業計画、予算、スケジュール等について

→ 事務局からの説明、質疑等なし。

#### （2）30周年メインイベントの概要・コンセプト等について

→ 事務局からの説明。その後、プロジェクトチームで意見交換。

## 【質疑・意見】

### ○イベントの全体概要・コンセプトについて

・新型コロナウイルス感染症の影響を考えると、オンラインイベントの併用を前提に考えたほうがよいのではないかと。オンライン配信やオンライン参加型などで、イベント後にもホームページなどで成果が残るようなものの方が良い。また、現在の案では30周年を祝う部分が少し弱い。30という数字はきりがよい数字なので、30になぞらえたような内容（この30年で活躍した人へのインタビューなど）があるとよいと思う。

→リスクヘッジの面で、オンラインを併用したイベントにしていく必要はあると思う。た

だし、リアルな部分を全くなくしてしまうと、メインイベントとして成り立つかどうかという問題もある。30周年を祝うコンテンツは、本プロジェクトチームの中で更に検討していきたい。

- ・袖ヶ浦駅前等の新しいまちで暮らしていると、その他の地区（特に内陸部）とのつながりを感じる事がなかなかできない。そうした地域間の交流やそれぞれの魅力の紹介という視点もあると良いと思う。
  - ・イベントのメインターゲットを子育て世代にするのは良いと思うが、シニア世代や外国にルーツをもっている方、そういった多様性に配慮したイベントになると、基本方針に掲げた「みんなでつくる」という目的に沿ったものになるのでは。イベントタイトルにもそうした配慮が必要だと思う。
  - ・袖ヶ浦（Sodegaura）は、地名の中にSDGsの文字があり、今後のまちづくりにつなげる未来志向のイベントにするには、コンセプトとしてSDGsの考え方が必要なのではないか。
- 30周年を記念して今年度作成する市勢要覧は、SDGsを一つのキーにしてまとめる予定であり、本イベントにも必要な考え方だと思う。特にコロナ禍において、イベントを開催する目的が今まで以上に問われることになる。未来のまちづくりにつながるイベントだということを改めて市民と共有していく必要がある。
- 企業としてSDGsの取組を考えたときに、17の目標についてできるだけ明確なゴールを共有しようと話し合った経緯がある。市としてそのような目標は定めているのか。
- 現状、市の総合計画等に市の施策とSDGsとの係りを掲載しているが、明確なゴール等は定めていない。

## ○イベントの個別内容について

- ・商工会青年部として、メインイベントとの合同開催により「子どもたちの職業体験イベント」を開催する予定。子どもたちが地元でできる仕事（飲食店や建設業など）をリアルに体験し、将来のわがまちでの働き方をイメージしてもらいたい。ドイツ村内での会場配置について、今後調整したい。
  - ・体験コンテンツとして、子どもたちにコンクリートで30周年のロゴをモチーフにした作品をつくってもらうような体験も面白いのでは。
- 30周年を祝うインスタポットのモニュメントを作っても面白いかもしれない。
- 人文字や斜面を活用した「30」のデザインなど、イベントに向けて盛り上げていくことも必要では。
- ・ドイツ村のイルミネーションがイベントの翌週から始まるので、東京ドイツ村20周年、市制施行30周年を祝うようなイルミと花火のコラボができればよい。感染症対策としては、極端に言えば、各自が車の中から花火を眺めるということも考えている。
  - ・ドイツ村のスカイランタンを活用する案も出ている。参加者は距離をとって離れてあげるので密対策にはなる。ただし、ヘリウムガス等を使うので準備のマンパワーが必要。
  - ・「袖ヶ浦音頭」は地域に親しまれていると思うが、木更津の「やっさいもっさい」、君

津の「いやさか踊り」のように、みんなで踊れる新しい踊りをつくるのも良いのでは。  
→新型コロナの影響もあり、多くの参加者が集まって、踊りや神輿等を行うのは現実的には難しいと考えている。オンラインを活用して取り組むのであれば可能性はあるが。

・ロゴマークを活用した記念グッズの販売予定はあるのか。

→ロゴマークを活用したポロシャツ、ピンバッジ、マスク等を作成してもらっているが、一般の店舗での販売は開始されていない。個別に作成事業者（親和商店、竹内商店）に問い合わせをいただくか、ホームページ等での販売となる。

### **(3) プロジェクトチームのチーム分担（案）について**

→ 質疑、意見等なく承認。2回目以降のミーティングでは、全体で話す議題と、各チームで検討する議題を分けて進める。

## **6 その他**

事務局より、「市制施行30周年記念事業一覧（予定）」、「今後のミーティング等の開催日程」、「次回ミーティングまでの課題」等を説明。

## **7 閉会**